



KITOKU SHINRYO

第58期
中間事業報告書

平成17年1月1日～平成17年6月30日

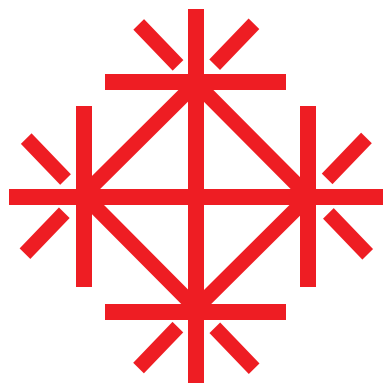
木徳神糧株式会社

<http://www.kitoku-shinryo.co.jp/>



To our shareholders

株主の皆さまへ



【企業理念】

誠意と感謝の気持ち
クオリティの追求
新しい価値創造

contents

- 01 株主の皆さまへ
- 03 特集
- 05 財務ハイライト
- 06 事業の概況
- 07 連結財務諸表
- 09 単独財務諸表
- 10 株式の状況／会社概要

皆さまには、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

第58期中間事業報告書をお届けするにあたりまして、日頃のご支援に心よりお礼申し上げます。

全般の状況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善から設備投資の増加、雇用情勢の改善が見られるなど、景気は概ね回復基調で推移いたしました。米穀業界におきましては、改正食糧法の施行に伴う米流通の自由化の進展、15年産米価格の乱高下などの影響を受け、大手米卸会社の経営破綻、全農県本部による米の不正取引問題など大きな問題が発生いたしました。精米消費量が依然として減少基調にあるなかで、消費者の低価格米志向、厳しい販売競争の継続から米卸会社は総じて収益性を悪化させており、極めて厳しい経営環境にさらされています。

このような状況のなかで当社グループは、米穀事業の収益力回復を最優先課題として営業力の再生、企業体質の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高49,896百万円、営業利益365百万円、経常利益297百万円、中間純利益220百万円となりました。

通期の見通し

下半期のわが国経済の見通しにつきましては、景気回復が底堅く推移するものと思われませんが、税・社会保険料負担増の不安などから、個人消費の回復は緩慢なものになると予想されます。米穀事業におきましては、消費の大幅な回復を望める環境にないなかであって、引き続き厳しい企業間競争の展開が予想されます。鶏卵事業及び鶏肉の販売につきましては、平成16年4月に終息宣言が出された鳥インフルエンザが再発し、風評による販売の減少が懸念されます。このような状況のなか、当社グループにおきましては、引き続き主力事業である米穀事業の営業力、競争力の強化につながる施策を推進し、併せて企業体質強化にも取り組んでまいります。

平成17年12月期通期の業績見通しにつきましては、売上高98,000百万円、経常利益510百万円、当期純利益

は350百万円を予想しております。

なお、平成17年10月1日をもって当社の特定子会社であるキトクフーズ株式会社と東洋鶏卵株式会社が合併いたしますが、この合併による平成17年12月期における連結業績への影響につきましては、上記の業績見通しに織り込まれております。

平成17年9月

代表取締役社長

本村良



独特の芳香と、柔らかな食感をお楽しみいただけます。

「タイ香り米」の故郷は、タイ中部にあるチャチュンサオ県のバンクラークに起源を發するといわれています。もともとは、地元で細々と栽培されているだけでしたが、香り米の持つ自然の芳香に着目したタイ政府が、その真の価値を広めようと増産に向けた取り組みを開始したのです。

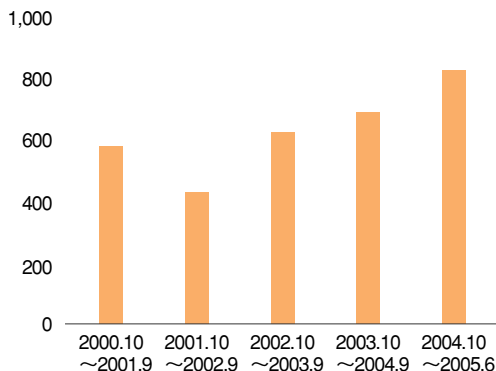
しかし、香り米は普通のタイ米の生産方法では芳香が損なわれ、香り米として成長しませんでした。そこで、珍重されていた香り米の原種に改良を加えるなどの結果、現在のように世界が認める美味しい香り米として量産することに成功したのです。そして、今ではタイ語(カオ・ホン・マリ/Khao Hom Mali)を訳し、「ジャスミンライス」の愛称で親しまれ、世界中の多くの高級料理店で使用されています。

また、「世界版の魚沼コシヒカリ」と表現されるタイ香り米の栄養成分は、日本の良質米と大きな違いは無く、私たちのエネルギー源として、日々の生活を支えてくれます。パンや麺類に比べて体内での消化が緩やかで、エネルギーが継続して送られていくお米の栄養成分はよく知られているところです。また、ご飯粒がパラリと炊き上がるため、食欲の無い時でも美味しくいただけます。



■ 当社の「タイ香り米」販売数量の推移

(単位:トン)



レシピも充実、「タイ香り米」のホームページ。通信販売もご利用になれます。

タイ香り米に関する基礎知識をはじめ、タイ香り米の炊き方、香り米を使ったタイフードのレシピなどを当社のホームページに掲載しております。また、ヤマモリ(株)のホームページにてタイカレーとタイ香り米の通信販売も行っております。是非アクセスしてみてください。



<http://www.kitoku-shinryo.co.jp/product/jasmine-rice/index.html>

り米」 皆さまの食卓へお届けします。

タイ・フェスティバル2005で「タイ香り米」を販売

毎年5月にタイ王国大使館主催で開催されている「タイ・フェスティバル」が、今年も5/14(土)～15(日)の2日間、東京・代々木公園イベント広場にて開催されました。会場にはタイレストラン及びタイ関連商品を販売する店舗がズラリと出店し、約40万人が来場しました。

当社ブースには、予想を上回るリピーターの方々に足を運んでいただき、販売用に用意した450g及び5kgのタイ香り米は、もち米を含め予定より2時間早く完売。「昨年以上に、需要の伸びを実感できた」と笑顔でコメントする海外事業部担当者からは、今後の市場拡大への意欲が感じられました。



ニッポン女性体内美人化計画進行中! (株)ライスピアが「和穀美人」を発売。

『和穀美人』は、雑穀の中でも注目の“押し麦”と“胚芽米”のブレンド米(無洗米)です。胚芽米はビタミン、ミネラルなどが凝縮された



胚芽を残して精米したもので、普通の精白米と比較して、ビタミンB₁・ビタミンEが豊富。さらに押し麦を混ぜることにより食物繊維を摂取することが出来ます!『和穀美人』は、ビタミンB₁、食物繊維が精白米の約3倍。体の中から健康・キレイにを応援します。

<http://www.ricepia.co.jp/syouhin/wakoku/index.html>

いつも美味しくお米を食べていただきたいから。 夏場のお米の保存方法をご紹介します。

お米の保存方法には、温度10℃以下の冷暗所がいいとされています。つまり冷蔵庫が一番なのです。

お奨めの保存方法をご紹介します。

- 1.まず大きめの密閉容器(ペットボトル、タッパー、ジッパー袋など)を用意します。
- 2.この容器を洗浄し、完全に乾かした後にお米を詰めます。
- 3.冷蔵庫または、野菜室の空いたスペースに入れて保存します。夏場に限らず、お米の保存はこのような工夫をすると安心です。

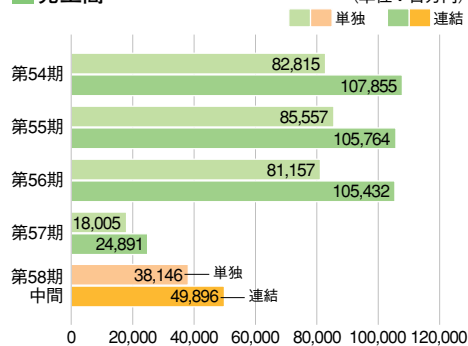


<http://www.kitoku-shinryo.co.jp/square/qa/natuba.html>

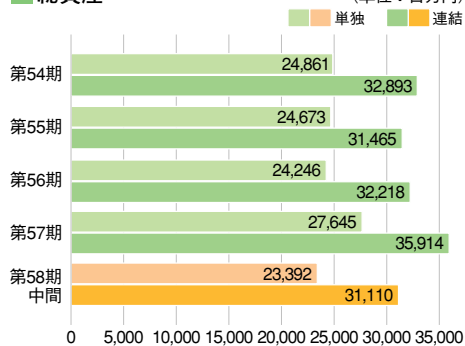
Financial highlight

財務ハイライト

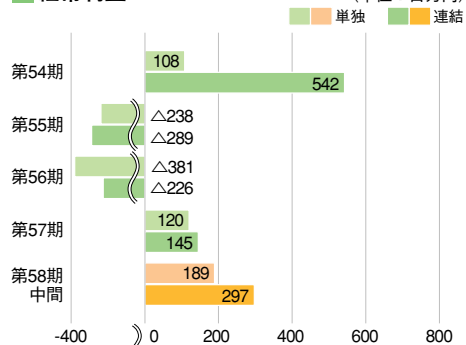
売上高 (単位：百万円)



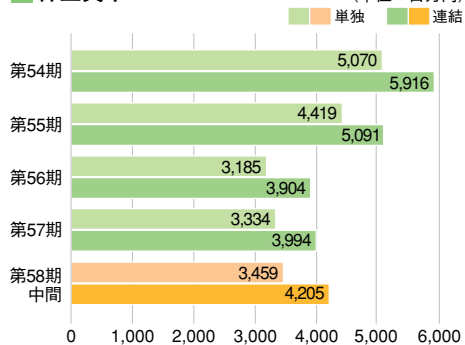
総資産 (単位：百万円)



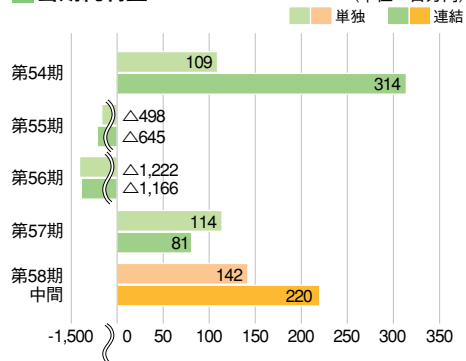
経常利益 (単位：百万円)



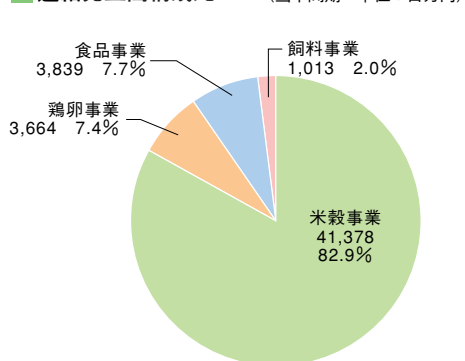
株主資本 (単位：百万円)



当期純利益 (単位：百万円)



連結売上高構成比 (当中間期 単位：百万円)



- (注) 1. 決算日を従来の9月30日から12月31日に変更したため、第57期は平成16年10月1日から平成16年12月31日までの3ヶ月決算となっております。
 2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Business review

事業の概況

米穀事業

当中間連結会計期間における米穀業界は、16年産米作況指数が98の「やや不良」となりましたが、卸会社が保有する15年産米の流通在庫量が高水準にあったことから、卸会社の原料の買付け意欲が乏しく入札価格の低下となりました。加えて、玄米の業者間取引についても低調なスタートでありました。流通在庫の消化が進むにつれ、入札価格は上向きましたが、精米販売につきましては、15年産米の不作に端を発する消費不振による販売数量の減少からは回復を見せてはいるものの、消費量の減少基調、小売価格の低廉化基調は変わらず、依然として価格競争の環境が継続しています。当社グループにおいては、競争力強化のための製造コスト削減、新規顧客の獲得、提案型の営業に注力を行い収益の確保に努めました。

この結果、当中間連結会計期間における米穀事業の売上高は41,378百万円、営業利益は765百万円となりました。

鶏卵事業

当中間連結会計期間における鶏卵事業は、鶏卵相場の高値が継続したことから、家庭用の一般卵、業務用卵の販売数量が伸び悩みましたが、「カロチンE卵」などの特殊卵の販売は堅調に推移いたしました。

この結果、当中間連結会計期間における鶏卵事業の売上高は3,664百万円、営業利益は58百万円となりました。

食品事業

当中間連結会計期間における食品事業は、主力商品である鶏肉が相場高に支えられ、売上、利益ともに堅調でありましたが、惣菜につきましては、見込生産による生産ロスの発生などにより製造原価の削減が進まず、利益を圧迫いたしました。

この結果、当中間連結会計期間における食品事業の売上高は3,839百万円、営業利益は77百万円となりました。

飼料事業

当中間連結会計期間における飼料事業は、配合飼料の生産量減少傾向が続く厳しい状況にありましたが、主力商品である糟糠類の販売が堅調であったことに加え、牛専用工場への販売取組の強化、新規商品の取り扱いなどにより販売数量の確保をいたしました。

この結果、当中間連結会計期間における飼料事業の売上高は1,013百万円、営業利益は76百万円となりました。

Financial data

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表 (要旨)

(単位:千円)

科 目	当中間期
	平成17年 6月30日現在
資産の部	
流動資産	18,219,387
固定資産	12,891,482
有形固定資産	9,984,569
無形固定資産	455,876
投資その他の資産	2,451,037
資産合計	31,110,869
負債の部	
流動負債	17,276,872
固定負債	9,122,713
負債合計	26,399,586
少数株主持分	
少数株主持分	506,043
資本の部	
資本金	529,500
資本剰余金	331,500
利益剰余金	3,221,496
株式等評価差額金	148,791
為替換算調整勘定	△11,347
自己株式	△14,700
資本合計	4,205,239
負債、少数株主持分及び資本合計	31,110,869

■ 連結剰余金計算書 (要旨)

(単位:千円)

科 目	当中間期
	自 平成17年 1月 1日 至 平成17年 6月30日
資本剰余金の部	
資本剰余金期首残高	331,500
資本剰余金中間期末残高	331,500
利益剰余金の部	
利益剰余金期首残高	3,001,620
利益剰余金増加高	220,710
利益剰余金減少高	834
利益剰余金中間期末残高	3,221,496

■ 連結損益計算書 (要旨)

(単位:千円)

科 目	当中間期	
	自 平成17年1月1日	至 平成17年6月30日
経常損益の部		
営業収益	49,896,428	
営業費用	49,530,836	
営業利益	365,591	
営業外収益	188,069	
営業外費用	255,682	
経常利益	297,978	
特別損益の部		
特別利益	122,018	
特別損失	40,079	
税金等調整前中間純利益	379,917	
法人税、住民税及び事業税	76,059	
法人税等調整額	55,438	
少数株主利益	27,709	
中間純利益	220,710	

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:千円)

科 目	当中間期	
	自 平成17年1月1日	至 平成17年6月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,857,240	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,621	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,154,335	
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,480	
現金及び現金同等物の減少額	△1,326,236	
現金及び現金同等物の期首残高	3,878,930	
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,552,693	

Financial data

単独財務諸表

■ 貸借対照表 (要旨)

(単位: 千円)

科 目	当中間期
	平成17年 6 月30日現在
資産の部	
流動資産	13,216,508
固定資産	10,175,871
有形固定資産	6,673,232
無形固定資産	366,893
投資その他の資産	3,135,744
資産合計	23,392,379
負債の部	
流動負債	12,754,634
固定負債	7,178,018
負債合計	19,932,652
資本の部	
資本金	529,500
資本剰余金	331,500
利益剰余金	2,469,273
株式等評価差額金	144,154
自己株式	△14,700
資本合計	3,459,727
負債及び資本合計	23,392,379

■ 損益計算書 (要旨)

(単位: 千円)

科 目	当中間期
	自 平成17年 1月 1日 至 平成17年 6月30日
経常損益の部	
営業収益	38,146,236
営業費用	37,869,060
営業利益	277,175
営業外収益	141,699
営業外費用	229,813
経常利益	189,061
特別損益の部	
特別利益	—
特別損失	10,295
税引前中間純利益	178,766
法人税、住民税及び事業税	1,181
法人税等調整額	35,314
中間純利益	142,270
前期繰越利益	506,206
中間未処分利益	648,477

Stock information & Corporate data

株式の状況／会社概要

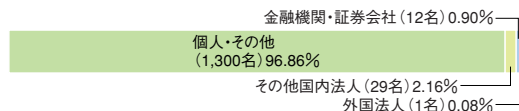
株式の状況

- (1) 会社が発行する株式の総数 ————— 30,000,000株
(2) 発行済株式の総数 ————— 8,530,000株
(3) 株 主 数 ————— 1,342名
(4) 大 株 主

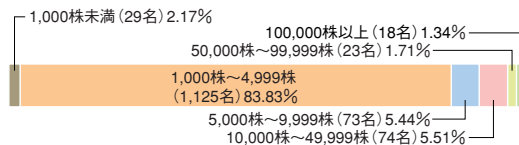
株 主 名	持 株 数	出 資 比 率
木 村 謙 三	405 千株	4.7 %
木 村 初 子	351	4.1
木 村 良	316	3.7
株式会社東京三菱銀行	240	2.8
稲 垣 辰 彌	227	2.6
濱田精麥株式会社	218	2.5
水 野 正 夫	208	2.4
木 村 徳 兵 衛	202	2.3
木徳神糧従業員持株会	196	2.3
農 林 中 央 金 庫	186	2.1
株式会社三井住友銀行	186	2.1

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 出資比率は、小数点第2位を切り捨てて表示しております。

株式の所有者別分布状況



株式の所有数別分布状況



会社概要

商 号 木徳神糧株式会社
事業内容 米穀事業、海外事業、飼料事業、
コメ加工食品事業
本社所在地 〒140-0002
東京都品川区東品川二丁目2番24号
天王洲セントラルタワー14階
TEL 03-5479-7111 (代表)
FAX 03-5479-6999
資 本 金 5億2,950万円
従業員数 151名

役 員 (平成17年9月1日現在)

取締役・監査役

代表取締役社長	木 村 良
専務取締役	松 山 正 吉
専務取締役	平 山 惇 夫
取締役	水 野 正 夫
常勤監査役	土 田 秀 三
常勤監査役	高 橋 健 治 之
監 査 役	大 川 孝 之

執行役員

執行役員	木 村 友 二 郎
執行役員	山 本 幸 雄
執行役員	天 川 誠
執行役員	伊 豫 田 直 記

事業所一覧 (平成17年6月30日現在)

本 店	東京都中央区銀座
本 社	東京都品川区東品川
関 西 支 店	滋賀県蒲生郡
桶川精米工場	埼玉県桶川市
本牧精米工場	横浜市中区かもめ町
米粉製造工場	新潟県阿賀野市

株主優待のお知らせ

1,000株以上保有の株主及び実質株主の皆さまに対し、当社の米穀製品を贈呈いたします。
(年2回実施)

6月30日現在の
株主の皆さまには
一律
2,000円相当

12月31日現在の
株主の皆さまには
一律
3,000円相当

当社の決算期を12月31日に変更しましたので、平成16年12月より上記の基準で実施いたしました。



*(例) 平成16年12月31日現在の株主の皆さまには、当社独自の評価システムにより厳選した最上級米「米浪漫」300g入り16袋を贈呈いたしました。

株主メモ

- 決算期 毎年12月31日
- 定時株主総会 毎年3月に開催いたします。
- 基準日 定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
- 配当金受領株主確定日 12月31日及び中間配当金の支払いを行うときは6月30日
- 名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱信託銀行株式会社 証券代行部
- 同事務連絡先 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号
(郵便物送付先) 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
(お問い合わせ先) TEL 0120-707-696<フリーダイヤル>
- 同取次所 三菱信託銀行株式会社 全国各支店
(注) 三菱信託銀行株式会社は、平成17年10月1日付けで三菱UFJ信託銀行株式会社に商号変更する予定です。
- 公告掲載新聞 日本経済新聞
(注) 貸借対照表及び損益計算書掲載のホームページアドレス
<http://www.kitoku-shinryo.co.jp/koukoku.html>

(届出諸事項についてのお知らせ)

住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求及び買増請求に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。

<http://www.kitoku-shinryo.co.jp/>



当社グループのホームページでは、決算短信やニュースリリースなど最新のIR情報を掲載しております。そのほか、報告書ではご紹介しきれない、当社グループの様々な情報が掲載されていますので、是非一度ご覧下さい。